

## 協豊会東海地区 レベル向上活動

### もっといいクルマづくり 「水素社会研修会」を開催

協豊会東海地区は9月12日（月）、13日（火）、20日（火）、10月7日（金）の四日間、福岡県において「水素社会研修会」を実施しました。

この「水素社会研修会」は昨年東海地区幹事・総務委員の参加にて開催され、大好評だったもので、今年度は協豊会各社代表者を対象に、数多くの参加をいただきました。

あいにくの悪天候にたたられ、日程見直しやスケジュールの変更などを要した研修会でしたが、参加者は、当日、福岡駅からバスにて出発し、まず水素エネルギー分野をリードする産学官の重鎮が結集する、＜福岡水素エネルギー戦略会議＞を母体とした、福岡県の水素戦略を推進し水素エネルギー産業への参画を支援している、水素エネルギー製品研究試験センター「HyTReC」を訪問しました。

試験センターでは、水素関連製品の耐久性試験や民間企業との共同開発研究などについて説明をいただき、その後、大型水素容器試験施設「CRADLE 棟」を視察し、水素ステーションなどで使用される水素容器の実験室などを見学しました。

また、福岡県と試験センターのご好意により、FCV車「MIRAI」の試乗も実施し、将来の水素燃料の普及に向けた取り組みを実感することが出来ました。

さらに福岡市に戻り、「福岡市中部水処理センター」を訪問しました。ここでは、下水処理で得られたバイオガスを原料として水素を製造しており、サイト内にある水素ステーションを介して燃料電池車などに供給される、水素ガスの製造過程や設備を視察しました。

このように大変あわただしいスケジュールの中、数多くの施設を視察見学し、近い未来の水素社会の到来に向けて、各施設においてその意義を十分に理解して、大変充実した一日となりました。



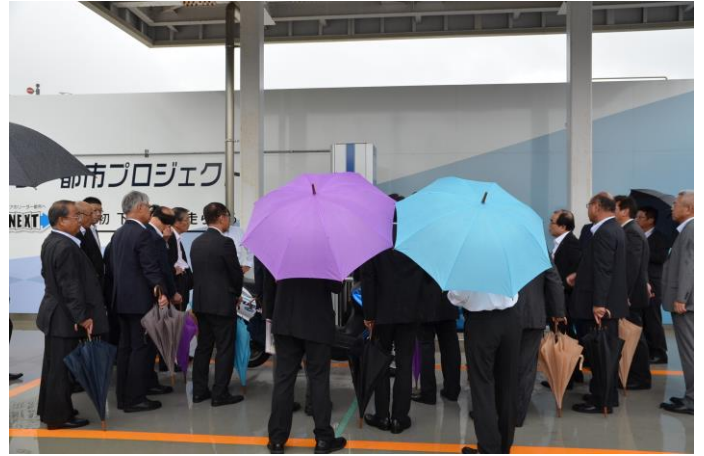
【HyTReC 取組み説明】



【MIRAI 試乗】



【福岡市中部水処理センター 取組み説明】



【福岡市中部水処理センター 水素ステーション】